

# 本州と伊豆半島、衝突現場を訪ねる

2009年1月17日(土)

## 本日の行程

相模大野駅集合 2番ホーム 8:00  
相模大野 8:10 ~ 8:50 新松田・松田 8:56 ~ 駿河小山 9:13  
駿河小山 9:20  
約1時間10分  
神縄断層 10:30 ~ 10:45  
約1時間  
送電鉄塔 11:45 ~ 12:15 (昼食)  
約20分  
大久保山 12:35頃  
約1時間  
塩沢大滝 13:40頃  
約30分  
塩沢集落 14:10頃  
約30分  
農協茶業足柄茶売店  
14:40頃  
約30分  
谷峨駅 15:10頃 (15:28 国府津行き 15:55 国府津行き)

反省会 鶴巻温泉途中下車「弘法の里湯」

## 小山町プロフィール



静岡県の北東端に位置して、北西端は富士山頂に達する。富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山 1320 m)と北東方は丹沢山地(不老山 930 m)東南方は箱根外輪山(金時山 1213 m・足柄峠 759 m)に囲まれ東西に伸びている。

## 神縄断層

伊豆半島が本州に衝突した時に生じた断層である。つまり、伊豆半島はかつて南の海にあり、プレートにのって本州に近づき、やがて衝突し、現在の位置にある。この衝突を裏付ける断層である。場所は、静岡県小山市、御殿場線駿河小山駅下車徒歩50分。

(ボクらは標準タイムの2~3割増しの時間で歩きます。)

### 送電鉄塔田代幹線

現在の田代幹線は山梨県早川発電所から神奈川県新秦野変電所までを結んでいる。この送電線路は早川電力・田代川水電等により既存の66KV線の拡張として昭和2年に建設され、電線路は川崎変電所まで送電されていた。川崎変電所は当時群馬幹線も結ばれており、田代川水電・早川電力・群馬水電を吸収した東京電力(東邦電力系)の核となる変電所となった。大正末期では東西の連携として東海道送電線220KVの電線路も計画されていた。

### 山里を俯瞰する

鉄塔巡視路から湯触や大藏野の集落を俯瞰することができる。高原状に広がるゆったりした斜面は、洪水を繰り返す谷側の土地よりずっと安全な土地だった。山には湧き水が豊富だ。山野や台地から採れる山菜や野菜も、自給自足には十分足りる量だったことだろう。後醍醐天皇の伝説が伝わるほど、昔から開けていた都夫良野や湯触の山里は、ボクらが想像するよりずっと豊かな生活を送ってきたに違いない。

### 注

里山：生活の場が主に谷戸にあり、居住地域も谷戸に面している。

山里：山の中にある集落を指す。ただし、山の中に孤立した集落ではなく、集落同士が道で繋がり、相互にあるいは広範囲なネットワークを作っていた。

### 塩沢の大滝



落差30m～40mはあるだろうか、水量こそ少ないけれど、1枚岩を流れ落ちる見応えのある滝。小さな岩粒の混じった一枚岩にはハーケンもリングの跡も見えない。立派な滝でありながら、人工登攀するには脆すぎるのかもしれない。

### 神奈川県農協茶業足柄茶売店

峰発電所のすぐ前にある足柄茶の製造・直売所。足柄茶はもちろん、ちょっと珍しいすり茶やJA特産品の販売も。立ち寄った人にはお茶のサービスがある。